



県議会 とちぎ

No.162

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755
E-mail gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



△2月16日に開催された県議会議事堂ホールコンサートの様子

第412回通常会議(令和8年2月16日～3月19日)

総額9,606億8千万円の令和8年度一般会計予算など66議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

●令和8年度栃木県一般会計予算

「新とちぎ未来創造プラン」の初年度の予算として、同プランに掲げる重要施策の積極的な展開を図るほか、当面するその他の重要課題にも的確に対応する予算です。主な事業は、以下のとおりです。

- ◎とちぎ結婚サポーター制度の創設、公立小中学校の学校給食費に対する助成、県立学校の体育館や特別教室への空調設備の整備
- ◎高校生の起業家精神を育成するセミナーの開催、生産者のニーズを捉えたスマート農業機器の開発・実用化への取組
- ◎救急搬送患者の積極的な受入れを促す補助制度の創設、困難な問題を抱える女性の日中の居場所づくりや自立に向けたステップハウスの提供
- ◎河川の堆積土除去や堤防強化等の防災・減災対策の推進、AI機能を搭載した街頭防犯カメラの設置
- ◎とちぎメディア芸術祭(仮称)の創設、木質バイオマスの普及拡大と住宅のゼロエネルギー化への支援の充実

●令和7年度栃木県一般会計補正予算(第8号)

国の「『強い経済』を実現する総合経済対策」に呼応するとともに、今後の安定的な財政運営の確保に配慮した予算であり、医療・介護分野における生産性向上の促進と農業の構造転換に向けた支援を行う経費などです。

●栃木県スタートアップ企業応援基金条例の制定について

スタートアップ企業等を支援することにより本県産業の振興に資するため、栃木県スタートアップ企業応援基金を設置するための新たな条例を制定することとしました。

●栃木県議会会議規則の一部改正について

議員の産前産後期間に係る欠席届の対象期間を産前8週間とするため、規則の一部を改正することとしました。

可決された意見書・決議と概要

●皇室の伝統に基づく安定的皇位継承の国会議論促進を求める意見書

連綿と続く皇統の重みを深く認識し、皇位継承の安定化に向けた議論を速やかに進め、国民的理解のもとに一刻も早く総意を取りまとめることを、国に要望することとしました。

●北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議

栃木県議会は、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進し、更なる取組の充実を図っていくことを決意する旨を決議しました。



▲第412回通常会議(3月19日)採決の様子

県議会正副議長インタビュー

第412回通常会議の最終日、池田忠議長と琴寄昌男副議長の辞職に伴う正副議長選挙が行われ、第113代の議長に関谷暢之議員、第120代の副議長に白石資隆議員が選出されました。新しく議長・副議長に就任した二人にお話を伺いました。

栃木県の将来を見据え
二元代表制の一翼を担う県議会の責務を
より一層果たすべく取り組みます

県民の皆さんがより身近に感じる
議会に向けて取り組んでいきます

せきや のぶゆき
関谷 暢之 議長(第113代)

しらいし としたか
白石 資隆 副議長(第120代)

(会派名) とちぎ自民党議員会
(選挙区) 那須塩原市・那須町
(期数) 4期

(会派名) とちぎ自民党議員会
(選挙区) 小山市・野木町
(期数) 4期

Q1. 特に力を入れて取り組みたいことは?

関谷 議長 **新とちぎ未来創造プランの着実な推進に向けて**

県民の英知を結集した新とちぎ未来創造プランの初年度であり、データや科学的根拠に基づいて政策を立案・評価する手法であるEBPMの手法も活用し、県議会としてもその進捗を見据えていきます。

また、広域的な視点で市町をけん引・支援する県政運営や市町間格差の是正に向け取り組んでいきます。

さらに、主権者教育の充実や若者の政治参加機会の拡充に努めるとともに、議会改革を議論していきたいと思ひます。

経済成長に向けた人づくりに取り組む

白石 副議長

本県のGDPについて、東京に近い地理的優位性といった潜在力も生かし、より高い目標を掲げて取り組むことが大切だと考えています。

また、経済成長を図るためには、人づくりが重要であり、半導体やAIなどの理工系分野の人材育成を図るとともに、そうした人材の県内への就職を促進することで経済成長とその先の県民の豊かさにつなげていきたいと思ひます。

Q2. 県民の皆さんへのメッセージ

関谷 議長 **議会の責務を果たすべく全身全霊を尽くす**

今期は、議員任期の最終年であるとともに新プランがスタートする大切な年度です。副議長とともに、議会としての監視機能や政策立案機能の向上に向けて、全身全霊で取り組みます。

ぜひ、忌憚のないご意見や県議会へのご協力をお願いします。

身近に感じてもらえる議会に向けて

白石 副議長

県政は、県民の皆さんから遠いと思われていますので、県議会がより身近に感じてもらえるよう努力していきます。

ご提案やご意見を県議会や県議会議員にお寄せいただきたいと思います。



このインタビューの様子は、広報番組「県議会ハイライト」(とちぎテレビ)で放送します。
【放送日時】5月3日(日)17時20分～18時
(5月8日から右の二次元コードからもご覧になれます。)



《第412回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (2/19)

つづら あきひと
螺良 昭人
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]



○メディア芸術^{※1}の振興

問 メディア芸術の振興は、文化芸術の振興にとどまらず、コンテンツ産業や観光の振興にも資する重要な施策となっていることから、人材育成も含めたメディア芸術の振興にどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】文化振興基金助成事業によるクリエイターの創作活動支援や、「とちぎメディア芸術祭」(仮称)を創設するほか、メディア芸術の振興をコンテンツ産業の成長・発展へとつなげていくため、漫画やアニメ等の専門家から成る会議体を新たに設置し、メディア芸術を学べる教育機関が多く立地する本県の強みを生かした具体的な取組を検討し、未来に誇れる魅力に満ちたとちぎの実現に向け、メディア芸術の振興に積極的に取り組んでいきます。

○県立病院のあり方検討

問 国立病院機構栃木医療センターとの統合の協議に至った経過と現在の状況について、また、今後どのように県立病院の再整備を進めていくのか伺います。

答 【知事】栃木医療センターは、県立病院に求められる総合診療機能や救急・災害医療、感染症対応等の機能を備えていることなどから、統合に向けた協議に至ったところであり、各病院の医療機能や職員の処遇等の現状・課題について共有を図るなど、相互理解を深めながら、協議を進めています。

また、新年度には、新病院の基本構想を策定する委員会を新たに設置し、県議会はもとより市町、関係団体等からも御意見をいただきながら、更なる検討を進めていきます。

このほか

「新とちぎ未来創造プラン^{※2}」の推進、令和8年度当初予算など

代表質問 (2/19)

やまぐち つねお
山口 恒夫
(公明党)
[宇都宮市・上三川町]



○県立病院の総合病院化及び高度救命救急センター設置に向けた取組

問 健康で安心なとちぎの実現に向け、両検討会におけるこれまでの検討結果も踏まえ、県立病院の総合病院化に向けた取組及び高度救命救急センターの設置を今後どのように進めていくのか、見解を伺います。

答 【知事】救急医療については、あり方検討委員会からの提言を踏まえ充実・強化を図っているところであり、特に高度救命救急センターに関しては、「新とちぎ未来創造プラン」において重点的取組として位置付け、既存の救命救急センターの機能強化を図ることにより、早期に設置できるよう関係医療機関等との協議を速やかに進めていきます。

○災害時の学校安全管理

問 東日本大震災に関する宮城県石巻市立大川小学校の判決を踏まえ、学校における防災教育や危機管理にどのように取り組んできたのか、見解を伺います。

答 【教育長】大川小学校事故の判決については、大変重く受け止めています。

各県立学校では、那須雪崩事故の教訓も踏まえ、危機管理マニュアルを整備しており、教育委員会では各学校を訪問支援するとともに、小中学校に対しても、マニュアル作成のための手引の周知などの支援を行っているほか、最新の知見を取り入れた教職員研修の実施や、防災教育の充実を図っています。

引き続き、児童生徒の身体・生命の安全確保を最優先に、次期とちぎ教育ビジョンに掲げる「誰もが安全に安心して学べる学校をつくる」の理念に基づき、学校安全の徹底・充実に努めていきます。

このほか

「新とちぎ未来創造プラン」、手話言語条例(仮称)の制定に向けた取組など

代表質問 (2/19)

ほぼ きんいちろう
保母 欽一郎
(県民)
[栃木市]



○医療課題の克服に向けた医療提供体制整備

問 県立3病院は、老朽化や地域医療の課題とせいで弱な救急医療問題への対応、医療ニーズの変化等から、施設整備の在り方の取りまとめが求められています。

県立病院あり方検討有識者会議の提言を踏まえた国立病院機構栃木医療センターとの統合再編に向けた協議・検討に当たり、基本的な考えを伺います。

答 【保健福祉部長】総合診療機能が充実し、2次救急を担う同センターとの統合が現実的であるとの意見が多く、機構本部との協議開始の判断に至りました。

新年度に設置する新病院の基本構想策定委員会において、同提言を踏まえ、新病院の診療機能や整備場所等について、更なる検討を進めていきます。

○公立学校の安全・安心な教育環境対策

問 公立学校において、教職員の盗撮などの不祥事や生徒の暴行・いじめなどの重大事案が発生しており、再発防止と被害生徒へのケア並びに公立学校の信頼回復に向けた対策が急がれます。

教育委員会が対策に取り組むべき課題や、対策についての考えを伺います。

答 【教育長】服務規律の確保に努めるよう改めて周知徹底を図るとともに、盗撮事案に関する再発防止ガイドラインを策定したほか、校内研修等を通じたリスク管理の強化に取り組んでいます。

また、動画の拡散については、「学校安全・安心対応チーム」を中心とした被害生徒のケアなどの対応に加え、今後は、SNSを活用した相談体制の整備や情報モラル教育の充実などに取り組んでいきます。

このほか

「いちご王国・栃木」の更なる発展、建設業界の物価高騰に伴う倒産・廃業問題など

代表質問 (2/19)

あべ ひろみ
(夢と希望)
[日光市]



○循環経済(サーキュラーエコノミー^{※3})への移行

問 これまでの利便性を追求した経済発展により、資源枯渇や気候変動、生物多様性の喪失など大きな問題となっています。

持続可能な社会の実現のためには、環境保全と経済発展を両立させるサーキュラーエコノミーへの移行が不可欠であり、本県はどのような対策を講ずるのか伺います。

答 【知事】県民や事業者へ日常の中でできる取組を分かりやすく発信し、サーキュラーエコノミーを自分ごとと捉えて行動できるよう普及啓発を進めます。

また、再生材の品質・量などに関する情報共有の場を設け、専門家派遣や再生材製品の開発支援を行うなど、循環ビジネスの構築を後押ししていきます。

○子どもファーストの不登校対策～誰一人取り残さない不登校対策～

問 子どもを取り巻く状況は多様化・複雑化し、不登校児童生徒が抱えている悩みに対応できていないと懸念しています。

教育支援センター等の居場所づくりやオンライン学習の活用促進、フリースクールへの支援など、多様な学びの選択肢の確保を進め、誰一人取り残さず自立につなげる取組が重要と考えますが、どのように対策を進めるのか伺います。

答 【教育長】不登校の対応は、未然防止、初期対応、支援を一体的に取り組み誰一人取り残さない教育を実現することが重要と考えますので、不登校対応の総合拠点となる県立教育支援センターを設置し、調査研究や知見の共有、市町への支援強化など、児童生徒の状況に応じた支援体制を充実させます。

このほか

誰一人取り残さない避難所生活～要配慮者の良好な避難生活の確保に向けた環境整備～、子どもファーストの不登校対策～誰もが安心して過ごせるこどもの居場所の充実～など

一般質問 (2/24)

おかべ みつこ
岡部 光子
(とちぎ自民党)
[佐野市]



○県産農産物の更なる輸出拡大

問 持続可能な農業の発展のため、いちごを中心として県産農産物の輸出拡大に取り組んでいくべきと考えますが、今般策定した栃木県産農産物輸出促進方針に基づき、農産物の安定的な販路として輸出を定着させるため、どのように取り組むのか伺います。

答 【知事】対象国や品目ごとの戦略的なプロモーション等により海外の需要を拡大するとともに、輸出相談窓口を新たに設けるなどにより輸出に意欲的な産地を育成していきます。

特に、いちごは、新たに米国のバイヤーを招へいし、品質の高さを伝えるとともに、多角的なアプローチを行い、更なる需要拡大を図っていきます。

○都市計画道路3・4・1号前橋水戸線の整備

問 都市計画道路3・4・1号前橋水戸線の高砂町、大橋、本町の各工区において、安全な通行の確保、無電柱化等、都市防災機能の向上が課題ですが、その整備の進捗状況とともに、今後どのように整備に取り組んでいくのか伺います。

答 【県土整備部長】高砂町工区については照明設置などの最終的な工事を、大橋工区については秋山川に架かる大橋の供用後の橋りょう取付部の歩道及び無電柱化の工事等を、本町工区については今年度から事業化し用地取得に向けた手続を進めています。

残る工区についても、事業中の3工区の進捗を見極めつつ、佐野市が進めるまちづくりと連携し、地元の協力を得ながら、切れ目なく推進します。

このほか

地域医療充実のための医療DX、SNS時代における学校がいじめ対策など

一般質問 (2/24)

おおくぼ ゆみ
大久保 ゆみ
(維新の会)
[宇都宮市・上三川町]



○「災害に強いとちぎ」のブランディングに向けて

～強みを生かした「攻め」の企業誘致～

問 産業団地のストック不足による企業誘致の機会損失が懸念されますが、本県の企業立地と産業団地の現状をどのように評価し、どのように企業誘致に取り組んでいくのか伺います。

答 【産業労働観光部長】立地件数は、新とちぎ産業成長戦略の目標をおおむね達成する見込みです。

産業用地の供給が追いついていないため、新年度は産業団地整備を着実に進めるとともに、地域未来投資促進法を活用する市町にアドバイザーを派遣して土地利用調整等の支援を行うことで民間企業による開発を促進します。

○グローバル市場を取り込むとちぎの成長戦略

～「稼げる畜産」を実現する県産牛肉の輸出戦略～

問 本県の畜産を稼げる産業に進化させるため、牛肉生産者の収益構造や経営環境をどのように認識し、今後どのように牛肉の輸出促進に取り組んでいくのか伺います。

答 【農政部長】飼料等の価格高騰など、畜産を取り巻く環境が厳しい中、収益性とブランド力の向上が重要です。

このため、肥育期間の短縮等による生産コスト低減や、優れた繁殖雌牛の導入促進による高品質化を図っていきます。

また、輸出による稼ぐ力を強化するため、海外の現地シェフを対象としたセミナーの開催支援などにも取り組んでいきます。

このほか

「文化と知」の創造拠点整備^{※4}事業の再検証、「災害に強いとちぎ」のブランディングに向けて～新たな県立病院の医療機能～など

※1 **メディア芸術**: コンピューター、映像、デジタル技術などの新しい表現媒体(メディア)を活用したアートの総称で、ゲーム、アニメ、漫画などのコンテンツも含む。
 ※2 **新とちぎ未来創造プラン**: 中長期的な展望の下、県民とともに目指す本県の将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現に向けた政策展開の基本的な方向性を明らかにするとともに、今後5年間の目標や重点的かつ戦略的に取り組む施策を示す県政の基本指針

※3 **サーキュラーエコノミー**: 製品やサービスの生産段階からリサイクルや再利用を前提に設計し、新たな資源の使用や消費を最小限に抑え、既存の資源の価値を最大化する経済システム
 ※4 **「文化と知」の創造拠点整備**: 県立美術館、県立図書館及び県立文書館の再整備

《質疑・質問日 令和8年2月19日、24日、25日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (2/25)

さとう はるひこ
佐藤 晴彦
(とちぎ自民党)
[さくら市・塩谷郡]



○地域の守り手である建設業の持続的な発展

問 設置に向け次年度に基本計画を策定する予定のインフラトレーニングセンターによる人材育成を通じて、地域の守り手である建設業の持続的な発展にどのように取り組むのか伺います。

答 【県土整備部長】新年度は、基本計画の策定に向け、県内の事業者や工業系高校を対象としたニーズ調査を実施した上で、事業内容や運営方法等について具体的な検討を進めていきます。

今後、インフラトレーニングセンターが、即戦力となる人材を育成・輩出することで、地域の創り手・守り手の役割をより一層担っていただけるよう、関係団体と連携して取り組んでいきます。

○県内の特色を生かした本県のグランドデザインの実効性確保

問 各地域の特性や魅力を生かすためには、その特性を細かく分析し、各市町の首長をはじめ市町議員や市町職員と共通認識を図りながら様々な施策の実効性を確保すべきと考えますが、県内の特色を生かしたグランドデザインの実効性をどのように確保するのか伺います。

答 【知事】「新とちぎ未来創造プラン」の「地域の特性」の項目で整理した県内5地区の特性や優先的課題を踏まえ、より地域の実情に即した施策展開を図るとともに、市町の自主的・主体的な広域連携等の取組を支援していきます。

また、初期の検討段階から市町や企業等の多様な主体と連携して施策立案に取り組む仕組みや環境づくりを進めていきます。

このほか

とちぎ人材の育成、稼げる農業の展開など

一般質問 (2/25)

やまだ みやこ
山田 みやこ
(民主市民)
[宇都宮市・上三川町]



○栃木の魅力発信

問 昨年12月、ベトナム・台湾におけるトップセールスに参加しましたが、地酒やとちあいかなど、栃木の食が海外においても売れることを確信しました。

県産品の輸出拡大やインバウンド誘客拡大につなげるため、トップセールスの効果をどのように捉え、栃木の魅力発信にどのように取り組むのか伺います。

答 【知事】ベトナム・台湾の要人と会談し、関係強化を確認するとともに、魅力発信イベントでは、多くのとちぎファンを創出できたものと確信しています。

現在策定中の「新とちぎ国際戦略」では、これらの成果を踏まえ、情報発信の強化やテストマーケティングなどに取り組む、「世界とつながり、選ばれのとちぎ」を目指していきます。

○「生きる」教育の取組

問 私が昨年読んだ「生きる」教育という本の内容を実践している学校では、人生の困難を解決するために必要な知識を習得し、友人と真剣に話し合うことで自分も相手も大切にするなど、自己肯定感を育む教育を行っています。

子どもたちの生きづらさやしんどさを取り除くため、義務教育段階から「生きる」教育に取り組んでいくべきと考えます。

答 【教育長】児童生徒が多くの人たちとの関わりの中で成長できるよう、各学校の取組を支援してきました。

今月策定した「とちぎ教育ビジョン」において、自分も他者も大切にできる態度を育成していくこととしており、児童生徒がより良い社会と幸福な人生の作り手となるよう、市町教育委員会と連携しながら学校教育の更なる充実に努めていきます。

このほか

女性が活躍し、女性が選ぶ栃木の実現、重層的支援体制整備事業^{※5}など

一般質問 (2/25)

いたばし かずよし
板橋 一好
(とちぎ自民党)
[小山市・野木町]



○残された課題

～県庁及び周辺の整備～

問 県庁本庁舎建設に当たって別庁舎に入居した企業局及び教育委員会について、本庁への配置が実現していませんが、対応について伺います。

また、県庁周辺整備について、明確な事業完成時期を示すべきと考えますが、併せて考えを伺います。

答 【知事】業務の効率的な執行等の観点から、でき得る限り全ての部局が同一建物内で業務を行うことが望ましいと考えており、執務室の確保に向けて引き続き取り組んでいきます。

県庁舎周辺整備については、宇都宮市が取り組むまちづくりの動向や社会経済情勢の変化も見据えながら、着実に取り組んでいきます。

○残された課題

～大谷地区の対応～

問 大谷地区には広大な採石場跡地が存在しており、実態調査を行い、必要に応じて安全を確保するための対応をすべきと考えますが、調査の現状と今後の見通しについて伺います。

また、大谷地域整備公社について、事業は宇都宮市に移管すべきと考えますが、併せて伺います。

答 【知事】実態調査は8割程度完了しているところであり、引き続き必要な調査を着実に推進するほか、先行事業で得られた手法などを活用しながら、今後とも埋め戻し作業が進むよう関係機関と調整を進めていきます。

公社については、地元と行政のパイプ役として、埋め戻しなどの抜本的対策が進展し、安全性が確認されるまでは、存続が必要であると考えています。

このほか

残された課題～LRTの鹿沼市への延伸～、農業高校のあり方など

いま 栃木県議会の「NOW」は こちらでチェック!!



栃木県議会【公式】X



県議会の日程や質疑・質問の中継案内など県議会の情報をタイムリーにお届けします。

とちまるくんも活躍中! フォローして議会の最新情報をチェック!!

#栃木県議会



県議会中継



本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、議会インターネット中継サイトで生中継しています。(映像は手話通訳付き)



議事堂1階展示コーナーのご案内

栃木県議会へようこそ!

映像シアター

広報用動画を
ご覧いただけます。

クイズコーナー

タッチパネル式の
クイズを楽しめます。

見学記念スタンプ

見学を記念したスタンプ
を用意しています。

パネル展示

県議会の役割などを解説した
パネルを設置しています。

展示コーナーは、平日の8:30から17:15まで自由に見学できます。ぜひお越しください。また、県議会議事堂を含む県庁団体見学も受け付けています。団体見学について詳しくは、**広報課県民プラザ室(028-623-3757)**までお問い合わせください。

議会広報番組「県議会ハイライト」

とちぎテレビでは、質疑・質問の様子など、県議会活動の内容をダイジェストで紹介する広報番組を放送しています。



【今年度の放送予定】
5月3日 17時20分～18時
8月2日 17時30分～18時
11月29日 17時30分～18時
2月7日 17時30分～18時
※いずれも日曜日

県議会公式 YouTube チャンネル

@tochigikengikaiでは、過去に放送された「県議会ハイライト」をはじめ、栃木県議会に関する動画を閲覧することができます。ぜひ、ご覧ください。

チャンネル登録も、よろしくお願ひします。



※5 重層的支援体制整備事業: 市町において、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、①相談支援(属性を問わない相談支援、多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援)、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一體的に実施する事業

常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第412回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和7年度一般会計補正予算(第8号)関係議案等)について、2月27日に審査及び採決が行われました。また、予算特別委員会に付託された令和8年度一般会計予算関係議案は、所管常任委員会に調査依頼され、3月11日と17日に調査が行われました。

●県政経営委員会

付託議案: 栃木県手数料条例の一部改正について等 4件

報告事項: 栃木県データ連携基盤の運用開始について等 8件

委員からは、山林火災の対策や県有財産の利活用等について意見が出されるなどしました。



●生活保健福祉委員会

付託議案: 栃木県医師修学資金等貸与条例の一部改正について等 7件

報告事項: 栃木県「文化と知」の創造拠点整備運営事業実施方針等の概要について等 2件

委員からは、県が取り組む結婚支援等について意見が出されるなどしました。



●農林環境委員会

付託議案: 栃木県森林整備地域活動支援基金条例の廃止について等 7件

報告事項: 栃木県農業振興計画「とちぎ農業未来共創プラン」の概要について等 4件

委員からは、今後の関西圏における県産農産物の魅力発信の方向性について意見が出されるなどしました。



●経済企業委員会

付託議案: 栃木県カスタマーハラスメント防止条例の制定について等 8件

報告事項: 地域再生支援利子補給金制度の活用について等 5件

委員からは、起業家精神の育成や観光施策の推進等について意見が出されるなどしました。



●県土整備委員会

付託議案: 栃木県建築基準条例及び栃木県手数料条例の一部改正について等 9件

報告事項: 県土づくりプラン(2026~2030)の策定について等 9件

委員からは、公営住宅等の長寿命化に関し、効率的な土地建物の活用等について意見が出されるなどしました。



●文教警察委員会

付託議案: 栃木県高等学校教育改革促進等基金条例の制定について等 4件

報告事項: とちぎ教育ビジョン(2026-2030)の策定について等 6件

委員からは、警察における暑熱対策用装備の拡充等について意見が出されるなどしました。



予算特別委員会

第412回通常会議において予算特別委員会に付託された議案について、3月16日に総括質疑を行いました。

○審査議案

令和8年度当初予算関係議案 計25件

○質疑者

- とちぎ自民党議員会 4名
民主市民クラブ 1名
公明党栃木県議会議員会 1名
県民クラブ 1名
夢と希望あふれる栃木を創る会 1名
えがおの会 1名



▲質疑の様子

3月17日に所管常任委員会において調査及び適否確認が行われた後、予算特別委員会で審査と採決を行い、全て原案のとおり可決されました。



↑映像はこちら

県議会の動き

○各委員会の正副委員長

第412回通常会議の最終日に、次のとおり正副委員長が互選により決定されました。

Table with 3 columns: 委員会名, 委員長, 副委員長. Lists members for various committees including County Administration, Life/Health/Welfare, Agriculture/Forestry/Environment, Economic/Business, Land Development, Education/Police, and the Budget Special Committee.

○会派の構成

令和8年4月1日現在の会派の構成は、次のとおりです。

Table with 2 columns: 会派名, 人数. Lists political groups like Tochigi Liberal Party, Democratic Citizens Club, etc., with their respective member counts.

議会あり方検討会

3月5日に、県民により身近で開かれた県議会の実現に向けた取組及び議員定数等について、意見交換を行いました。



▲意見交換の様子

国会等移転促進協議会

3月19日に、政府関係機関の地方移転等に係る現在の国の動きと県の対応について執行部から説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

また、互選が行われた結果、副会長に池田忠議員が決定されました。

第413回臨時会議

3月30日に、地方交付税の確定等に伴い、歳入歳出予算の整理を行うとともに、県有施設整備基金のかん養を図ること等として編成した令和7年度補正予算(第9号)等2議案が上程され、所管常任委員会の審査を経て、原案のとおり可決されました。

U-18 高校生世代のギモン? もっとなるほど! 県議会. Includes a Q&A section with photos of members (関谷暢之, 白石資隆) and a QR code for question collection.

次回通常会議の日程

- 6月 2日(火) 本会議(開議、議案上程)
4日(木)、8日(月)、9日(火) 本会議(質疑・質問)
11日(木) 常任委員会
12日(金) 議会あり方検討会
17日(水) 予算特別委員会(総括質疑)
18日(木) 常任委員会
22日(月) 本会議(採決、散会)